

長期安定的な発電事業の実施に向けた事業計画について

資源エネルギー庁策定の廃棄等費用積立ガイドライン（2023 年 4 月改定）に基づき、長期安定的な発電事業の実施に向けた事業計画について公表いたします。

1. 発電事業を調達期間又は交付期間の終了後も継続するために必要な措置について

(1) 調達期間又は交付期間終了後の売電方法等に関する検討状況

2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて、国は 2021 年 4 月に第 6 次エネルギー基本計画において 2030 年度温室効果ガス 46%削減(2013 年度比)の目標を掲げ、さらに 50%に向けて挑戦を続けることを表明しました。実現に向けた施策のひとつとして、既存再エネの長期電源化に向け、調達期間終了後も中長期的に持続的な事業運営を実施することが求められていると理解しております。

テラスエナジー熊本荒尾ソーラーパークは、2035 年に調達期間が終了することとなりますが、引き続き 2030 年度温室効果ガス削減目標と 2050 年カーボンニュートラル実現に貢献できるよう、発電を継続する方向で検討しています。

具体的には、小売電気事業者に電力供給を前提として、再生可能エネルギー電気の調達を求める需要家に電力を供給することを基本的な考え方に据えつつ、必要に応じて卸電力取引所への市場売却も検討しています。

(2) 調達期間又は交付期間終了後の発電所の用地確保等に関する取組状況

テラスエナジー熊本荒尾ソーラーパークが 2035 年 2 月 1 日以降も発電が継続できるよう、今後、地権者と協議を進めて参ります。

具体的には、弊社、または地権者その他の第三者が、(1)に掲げる方法で引き続き事業を継続することを前提に、地権者が当該用地を発電所用地として確保し続ける合意が得られるよう、協議する方針です。

2. 発電事業の継続に向けた地域との共生に向けた取組について

(1) 事業の理解促進等を目的とした取組

弊社では、太陽光発電所の運転開始にあわせ、発電所を一望できる物見台を設置しております。

また、地域共生の一環として、のりの養殖に配慮した除草方法を採用しています。具体的には、雑草の草刈りを春から秋までの期間に限定し、刈った草はその場で集めて飛散しないように適切に処理することで、のりの養殖への悪影響を防ぐ措置を講じています。

ほか、弊社に出資するテラスエナジー株式会社を通じて、地域貢献活動に積極的に取り組んでおり、今後もこうした活動を継続する方針です。テラスエナジー株式会社における地域貢献への詳細な取り組み内容については、下記ホームページをご参照ください。

地域貢献への取り組み

https://www.terras-energy.com/ja/community_relations/activation/

■廃棄等費用積立計画（テラスエナジー熊本荒尾ソーラーパーク）

運転開始日 2015/2/1
積立計画（累計） 2025年2月28日時点 27,200,000円
積立実績（累計） 2025年2月28日時点 27,200,000円

PCS容量 16,000 kW
廃棄費用等費用想定額 17,000 円/kW
年間積立額 1,700 円/kW

積立計画	日付	累積積立額（単位:円）
積立1年目	2025/2/28	27,200,000
積立2年目	2026/2/28	54,400,000
積立3年目	2027/2/28	81,600,000
積立4年目	2028/2/29	108,800,000
積立5年目	2029/2/28	136,000,000
積立6年目	2030/2/28	163,200,000
積立7年目	2031/2/28	190,400,000
積立8年目	2032/2/29	217,600,000
積立9年目	2033/2/28	244,800,000
積立10年目	2034/2/28	272,000,000